

名市と名建協 災害協定再締結で連携強化

2022/2/21 中部版 掲載記事より

名古屋市上下水道局と名古屋建設業協会は、災害時における応急対策の協力に関する協定締結式を名古屋市内で開いた。地震、津波、風水害などの自然災害や事故などで、同局が管理する水道施設、工業用水施設、下水道施設が被災した場合に、上下水道施設の点検、応急給水、応急復旧、資機材の供給などで名建協が協力、早期の市民生活の復旧・復興につなげる。

締結式で、同局の飯田貢局長は「1999年に下水道施設を対象に災害協定を締結し、これまで連携してきた。近年は南海トラフ巨大地震の発生が懸念されてる他、局所的豪雨が各地で頻発している。地元力を得られるのは大変心強い」とした。今回の協定を通じて「パートナーシップがより深まることを期待する」と語った。

名建協の高山進会長は「上水道、下水道が一本化されることで、組織的な活動がよりスムーズになる。万が一の際は全面的に協力していく」とした。「災害に備え、防災訓練や情報網の整備に取り組む。私たちは地元企業170社余で構成し、地域のコミュニティーとの調整も地元として接することができる」と話した。その上で「今回はスタート。より本格的に取り組んでいく」と語った。



災害協定の再締結で連携を強化

名建協と名市上下水道局 災害協定を再締結

2022/2/21 中部版 掲載記事より

名古屋建設業協会（高山進会長）と名古屋市上下水道局は2月17日、災害時における応急対策の協力に関する協定を締結した。1999年4月に締結した協定について、水道、下水道を一本化して再締結。同局施設の被災時に、より効率的な応急活動体制が可能になった。同局と他都市が結ぶ応援協定でも、応急対策の協力を可能にしている。同局の飯田貢局長は、今回の協定を意義深いとし、「市民の安全・安心を守るため、備えを万全にしていきたい」とあいさつした。



災害協定を水道・下水道で一本化（左・高山名建協会会長）